

平城高校の生徒のみなさんへ (③ 部活動のことや「心」の持ち方について)

皆さん お元気ですか。在宅教育期間が現在のところ5月末日まで延長されている状況ですが、GW 中も新型コロナウイルス感染症 (covid-19) の感染拡大防止の影響で依然として不自由な生活を強いられていたことと思います。しかし、昨今のニュースを拝見していますと所謂「新しい生活様式」の提唱等の言葉からも、少しずつですが「出口」への模索も検討されてきているようにも思えます。

今、世界中で新しいワクチンの開発の研究が進められ、アップルとグーグルも協力してブルーーツスを用いた技術でスマホの利用者に、感染拡大を抑える上で濃厚接触の検出・追跡に役立つ技術を開発中とのことです。

学校では、先生方は皆さんから送られてきた提出物の添削や確認作業をしていただいている一方で、授業の動画作成、配信の準備、あるいは皆さんより本校のホームページの質問フォームよりいただいた200を超える質問に一つひとつ答えていただいております。

私の方でも、3年生の物理の実力養成講座(熱力学編)の動画をアップさせていただきました。登校できるようになれば、物理の質問や解りにくい問題があればいつでも校長室に来てください。少しばかりですがみなさんのお役に立てるかもしれません。さらには教頭先生からも中庭からの映像と音楽関係の動画をアップしていただく予定です。

先月末、奈良県高体連から、全国高体連4月臨時理事会において、「令和2年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の全競技及び総合開会式」の開催の中止が決定された旨、通知がありました。決定の理由としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の収束にはまだ時間がかかり、競技内容だけでなく移動や宿泊などによる感染リスクは大きく、大会に関わる人の安全・安心を確保することが困難であること、また学校の臨時休業により十分な練習時間を確保することが困難な状況であり、怪我や熱中症等の発生など、事故の発生が危惧されること、更には全国の医療機関が、大会実施に伴う事故等に十分な対応ができないことが懸念されることが挙げられています。



「平城心」の人文字

「インターハイ県予選」は、特に3年生にとっては高校生活最後の大会と位置づけるクラブが多く、高校での部活動の総決算として、その成果を示すべく、これまでの活動に意欲を高めていた生徒のみなさんも多かったのではないかと思います。誠に残念でなりません。これまで皆さんが磨いてきた技量、積み重ねてきた努力、高めてきたチームワーク等、その練習の日々を思い浮かべると、何と申し上げてよいやら、生徒の皆さんや顧問の先生方をどう慰めてよいのやら、言葉に窮します。

けれども、みなさんが精一杯努力してきた事実は揺らぐことはありません。また、必ずや、かけがえのない財産となり、皆さんの中で実を結び、同じ夢を目標としてきたチーム

メイトとともに大きな糧となっていく筈であることと信じています。

部活動の再開についてもメドの立たない状況が続きますが、みなさんが、どうか、へこたれず、くじげず、スポーツを愛する心を忘れずに、自分の10年後、20年後の人生に向けて、今、出来ることを模索し、集中して同級生と取り組んでくれることを願います。

今回は、私も GW 中に「夢を追いかけて」今もがんばっている高校時代の同級生に励まされましたので、この機会に少し紹介させていただきたく思います。

まず Y 君としておきましょう。高校時代は山岳部で活躍していました。銀行に勤務して退職前には「取締役」をしながらも登山に打ち込み、現在 日本山岳会 (<https://jac1.or.jp/>) の「グレートヒマラヤトラバース」に参加し、カトマンズから facebook を使って毎日、写真や動画を送ってきてくれています。同プロジェクトの踏査ルートは同会のホームページ上に公開されています。

次は M 君です。ABC ラジオで「ドッキリ！ハッキリ！」という番組でアナウンサーとして朝から元気な声で旬の話題を教えてください。(<https://www.abc1008.com/miyo/>) この番組には私も南極の「昭和基地」から現地レポートをするという名目で参加させていただいた記憶があります。彼は高校時代はバレー部でセッターとして活躍していました。高校時代より落語に興味があり、3年のクラスのホームルームでも落語を披露してくれました。

みなさんも孤独感や孤立感を感じたときは友達や学校の先生とも連絡をとり、この困難を乗り越えてゆきましょう。さらには県教育委員会にも各種の相談窓口がありますので、必要な場合は利用してください。(<http://www.nps.ed.jp/nara-c/soudan/denwasoudan.html>)

こつこつと日々努力をつづけると、必ずやある日、振り返ると自分の登ってきた「道」と、到達した「高み」に気づくはずで

では、また平城高校に君たちの元気で明るい笑顔が戻ってくる日を楽しみにしています。



カンチェンジュンガ連山 (右から南峰・中央峰・主峰・ヤルンカン)

令和2年 5月 7日
校長 森田 好博